

平成 30 年度 グラウンドワーク三島・フィールド体験「参加者募集」!

趣 旨 グラウンドワーク三島は 25 年間にわたり、市民力を結集して、現場の課題を具体的に解決することにより多様な「現場モデル」を蓄積してきました。そのプロセスには、合意形成やパートナーシップの仕組みづくり、成果を残すための現場での段取りのノウハウなど、NPO の実践的な知恵と創意工夫が満載です。現場に来ていただき、共に汗を流しながら、1 人 1 人の力の大切さと実力を実感してください。終了後は温泉に入り、お酒などを片手に楽しく参加者とともに懇親、意見交換しましょう。

参加者 グラウンドワーク三島や NPO 活動に興味と関心がある学生やシニアの皆様など

参加費 5,000 円 (資料代・指導代・バス代等)・大学生や中高校生は無料

日 時 平成 30 年 5 月 26 日、6 月 9 日、6 月 23 日、7 月 7 日、7 月 21 日 (土) 5 回実施

案内講師役 グラウンドワーク三島専務理事・都留文科大特任教授 渡辺豊博



1950 年生まれ、三島南中学校・沼津東高校卒、中学 1 年には「狩野川の生態」で日本学生科学賞受賞、2 年には富士山を標高ゼロから徒歩で踏破以来 88 回登頂。昭和 48 年静岡県庁入庁、平成元年に暗渠化を阻止して源兵衛川の親水公園化事業を計画推進。

「右手にスコップ・左手に缶ビール」を合言葉に三島ゆうすい会・グラウンドワーク三島を大岡信氏や緒明寛氏と結成。元気な三島創造を目指して国内外に先駆けて先進的なまちづくり活動を展開。源兵衛川の「世界かんがい施設遺産」「世界水遺産」登録の先導者。

体験の概要




時刻	内 容	摘 要
9:30	グラウンドワーク三島事務所集合	
	バスや自家用車で現場に移動	
10:00	松毛川・境川清住緑地・御殿川・大場・源兵衛川等	多様な活動現場での作業体験
	竹間伐・チップ化・下草刈り、植林・清掃活動	
12:00	昼食(弁当)	
13:00	作業	
15:00	グラウンドワーク三島実践地視察	境川・清住緑地→三島梅花藻の里→源兵衛川→白滝公園→街中カフェ
17:00	三島温泉・参加自由	個人負担
18:00	交流会(会費負担)・源兵衛川でホテル観賞・自由参加	三島街中カフェ 2 階・源兵衛川
20:00	解散	

■体験視察地区の概要

松毛川

一級河川・狩野川の旧河川である松毛川には、狩野川の本風景である生態系豊かな河畔林が今も残っています。しかし、水質悪化や河畔林の弱体化による倒木などの環境悪化が進んでいます。グラウンドワーク三島では、多様な関係者との協働による「松毛川千年の森づくりトラスト事業」を展開しており、自然観察会、植林、ゴミ拾いなどを実施しています。



<p>三島梅花藻の里</p> <p>「水の都・三島」の宝物・ミシマバイカモも、湧水の減少と水質悪化により、市内から姿を消してしまいました。そこで、この水生植物を再生・復活すべく、佐野美術館所有の湧水池をミシマバイカモの増殖基地として整備しました。木製デッキ、水車、門などは企業からの資材提供や技術指導を受け、ボランティアの創意工夫で作られています。毎週、ボランティアの手で維持管理されているので、年間をとおしてミシマバイカモを間近で観察できます。</p>	
<p>御殿川</p> <p>「御殿川」は湧水河川で、川沿いには、昔の水車小屋跡や水神さん・お不動さん等の地域の文化・歴史遺産が残されているだけではなく、数年前からはゲンジボタルの飛翔やミシマバイカモの生育が始まり、中流部では、絶滅危惧種のホトケドジョウも確認されています。しかし、ゴミの放置、雑排水の流入、外来種の繁茂など環境悪化が進んでいるため、グラウンドワーク三島では、御殿川の水辺再生に取り組んでいます。</p>	
<p>源兵衛川</p> <p>かつての源兵衛川はホタルが乱舞し、子どもが水遊びに興じる、「水の都・三島」のシンボルでした。しかし1960年代以降、湧水の減少とともに、冬には悪臭を放つ地域の厄介者になってしまいました。グラウンドワーク三島が仲介役となり、行政には多自然型の再生整備計画を提言し、企業には冷却水の年間供給を依頼し、市民としてゴミ拾いを続けることで、現在の美しい川に甦りました。全国から多くの観光客が訪れ、三島の観光振興の中核となっています。平成29年11月に「世界かんがい施設遺産」、平成30年1月に「世界水遺産」に登録され、世界的な評価を受けています。</p>	
<p>大場里山再生</p> <p>三島市大場地区には、絶滅危惧種のホトケドジョウやメダカ、トノサマガエル、三島市の鳥・カワセミなどが生息する、里山（山林・水田・休耕田・湿地帯・自然水路）が広がっています。かつては全山に「三島桜」が咲き乱れ、大場地区の守り神が宿る、ふるさとの貴重な里山でした。しかし現在、三島桜は完全に枯れ果てて放置山林になってしまい、隣接の水田も荒地化し、水路も壊れ始めています。そこで、地元自治会や地域住民、農業関係者、三島南高校生などと連携して、自然水路再生・造成の国土交通省への提案や、生態系調査、里山再生に向けた間伐作業等を進めています。</p>	

■申込書 平成30年度 グラウンドワーク三島・フィールド体験

※本申込書をFAX (055-973-0022) かE-mail (info@gwmishima.jp) にお送りください。

※5回実施しますが、参加者の都合により、1回での参加でも受け付けさせていただきます。

参加希望日に○印を記入ください 複数参加可能	5月26日(土)	6月9日(土)	6月23日(土)	7月7日(土)	7月21日(土)
ふりがな	住所		〒		
氏名	F				
電話	A				
Eメール	X				
所属	年代	10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代			

問い合わせ・申し込み先	特定非営利活動法人グラウンドワーク三島事務局（担当美和）	H30.4.25
	〒411-0857 静岡県三島市芝本町6-2	
	電話: 055-983-0136 FAX: 055-973-0022 E-mail: info@gwmishima.jp	